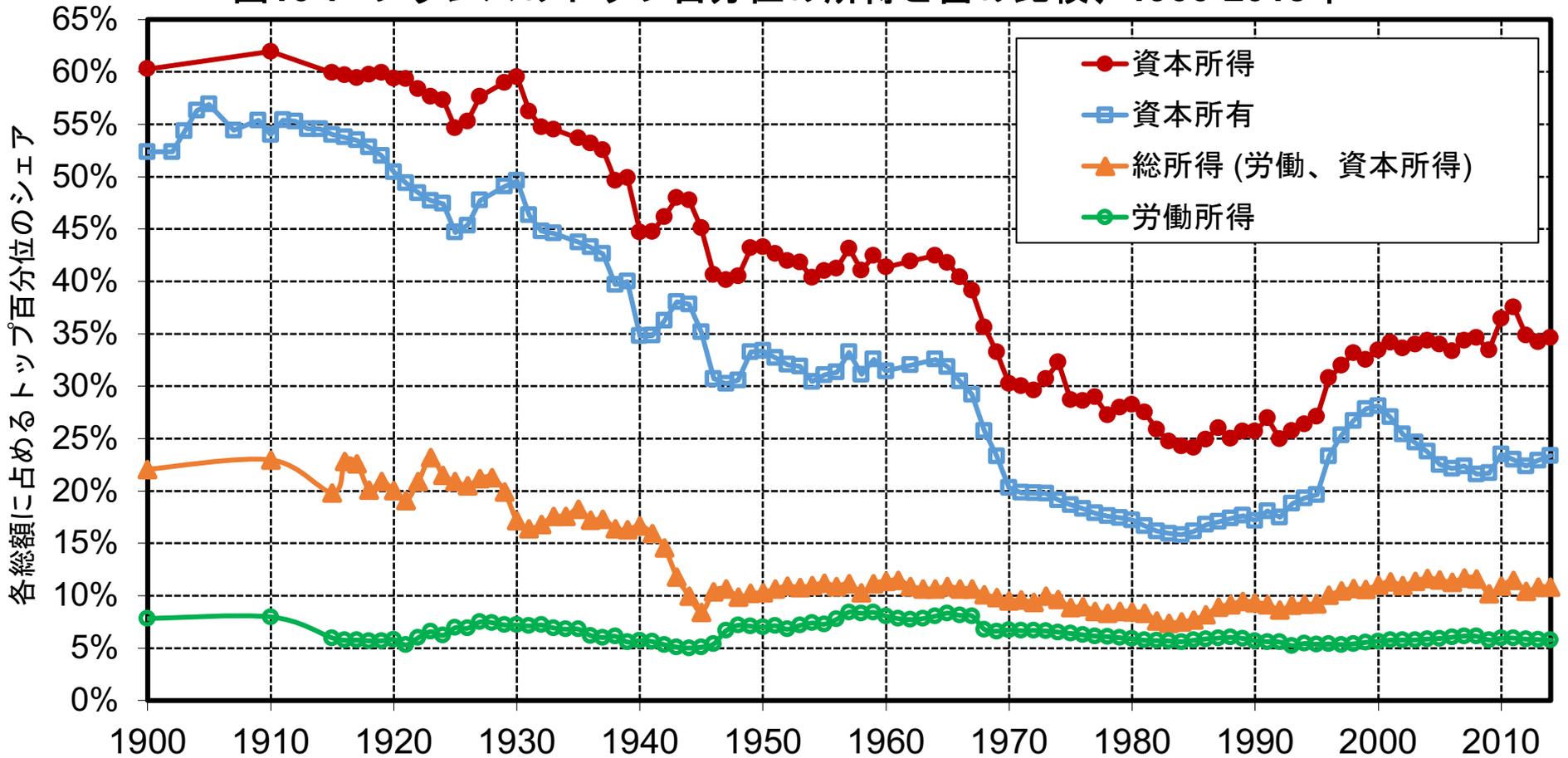


図10-7 フランスのトップ百分位の所得と富の比較、1900-2015年



解説: 1900-1910年に資本所得(賃料、収益、配当、利子等)トップ百分位は全体の概ね60%を占めていた。資本(不動産、専業、金融資産、負債を差し引いた純額)所有者のトップ1%は全体の概ね55%を持っていた。労働所得(賃金、非賃金報酬、年金)のトップ百分位は全体の概ね5-10%を得ていた。長期的には、格差縮小は富の集中低下によって完全に説明できる。出所と時系列データ: piketty.pse.ens.fr/ideology 参照。